

一般質問



嶋田
議員

○松浦産まれの「真乃介」「姫晴久」
種牛の有効活用と支援について

質 市内の和牛の繁殖農家数と飼養頭数の推移をお伺いします。

農林課長 令和2年が167戸で2千176頭、令和7年が132戸で2千24頭となっており、5年間で農家数が35戸減で、頭数が152頭減となっています。

質 松浦産まれの「真乃介」「姫晴久」種牛から産まれた子牛の増頭につながらなくても、維持、産子の保留に対しての補助金が必要と考えるが、見解をお伺いします。

市長 松浦で生まれた種雄牛の種を松浦育ちの牛につけて、子牛を産んでもらう。それを保留して、今後松浦の牛で活躍できる環境づくりは必要だと思えます。質と量を兼ね備えた非常に能力が高い牛が生まれて、それが全国で人気が出ているという情報も聞いています。そのような環境をつくるためには、まず、更新についても増額をして補助金を出したいと思えます。

○不老山公園の進捗状況について

質 休園前の不老山総合公園は市内外から観光バスも多く訪れ、皆さんに楽しんでいただいていた。皆さなずまや、トイレ、遊具などの現在の整備状況をお伺いします。

文化観光課長 令和7年度からの再開園に向けて、昨年度、老朽化した施設の改修を行いました。主な改修の内容は、あずまや、ベンチ、遊具、トイレの建物修繕・和式から洋式便器への改修・屋内照明のLED化・浄化槽や滝ポンプの修繕等を3月末までに完了しております。

質 リニューアル開園に向けて、イベントの計画など、今後のスケジュールをお伺いします。

市長 年度当初は秋以降の再開園を予定していましたが、8月11日の大雨で、新たなり面の崩落が発生し、現在、県の対応について連絡を待っています。

8月に行われた子ども議会でも不老山総合公園の再開園に向けた質問があり、市民の皆さまが不老山総合公園の再開園を待ち望んでいることから、これ以上、再開園を延ばすことはできないと県に申し伝えていきます。

再開園時には地元の保育園等に呼びかけてセレモニーを実施し、来年のツツジの開花時に再開園を記念したイベントを実施したいと考えています。

一般質問



和田
議員

○松浦市の医療体制について

質 松医会からの要望項目である、医療機関の新規開業・承継補助事業の創設、松浦中央病院の常勤医師確保に関する具体的な支援、医師や看護師、介護職を地域に誘致するための具体的な支援、ICTインフラを活用したオンライン診療システム、遠隔医療の拡充などの支援について伺います。

市長 松医会からの要望書については、地域の医療を支える先生方の要望をまとめられたものであり、市としては重く受け止めています。新規開業や事業承継に対する補助事業の創設については、本市の医療環境を維持する上で必要と考えており、制度化された佐世保市、西海市、南島原市の実績を把握した上で、効果的な制度設計について検討したいと考えています。松浦中央病院の常勤医師の確保に関する支援については、医師の確保は大変難しい状況ですが、市内医療機関との連携は大変重要であるため有効な手だてを検討したいと考えています。医師や看護師、介護職を誘致するための支援については、これまでの施策を参考にし、検

討してまいります。オンライン診療システム、遠隔医療の拡充などの支援については、8月の子ども議会でも答弁しましたが、青島、飛島、黒島の3つの離島を視野に入れ、先進地の情報収集を行い、県と連携し早期実現を目指したいと考えています。また、市内医療機関のご協力が不可欠であると考えています。

○公共施設の緑地等の維持管理について

質 公共施設の緑地等の持続的かつ適切な維持管理のための、専門業者への業務委託や指定管理者制度の導入について伺います。

市長 専門的知識を必要とする施設の管理については、専門業者等による持続的かつ適正な維持管理を行う必要があると認識をしています。一方で、限られた予算の中で多くの施設を管理していく必要があるため、効率的な管理の方法を見極める必要があると考えています。現在、地域の方々と民間団体の皆さまと共同で維持管理を行っている施設もあり、そのような施設については引き続き協力をいただき、他の施設も協働でやっていく必要があると考えています。全ての施設を専門業者にお願ひするのではなく、施設ごとの管理方法を判断しながら、最少の経費で最大の効果を上げるよう取り組んでいきたいと考えています。